

一般質問 楠井 常夫(新政会)

幼保一元化について

質問 少子化や社会情勢の変化に伴い、全国各地で幼保一元化が検討されている。先般、高松市が、来年度から幼保一体化施設を整備するとの報道があった。また、県内他市でも検討委員会を発足したという話を聞く。

本市でも早急に議論する必要があると考えるが、現状はどうなっているのか。今後、準備委員会などを設立する予定はあるのか。

答弁…市長

今年6月25日に、国の今後の子育て支援のあり方を示す「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」が公表されました。

その中で、従来の幼保一元化からさらに進んだ幼保一体化の方向性が示されていますが、新しいシステムの具体的な制度設計については、これからさらに議論が進んでまいります。

この問題については、次代を担う子ども達の健全やかな育ちを最優先に考えることはもちろん、大都市とは異なる地方の子育て支援の課題やニーズ、これまで本市の幼児教育・保育行政全般にわたり主導的役割を果たしてきた民間幼稚園・保育所の意向、各地域における幼稚園・保育所の配置や園児数の状況など、それぞれの地域の実情を踏まえた柔軟な制度となるよう、国において十分な検討がなされることが重要です。

本市としては、今後の国の動向を注視し、教育委員会と福祉部局との連携を密にしながら、慎重に検討していきたいと考えています。

末包 保広(新政会)

総合型地域スポーツクラブについて

質問 文部科学省が策定したスポーツ振興基本計画では、平成22年度までに、全国の市町村に1つ以上の総合型地域スポーツクラブを育成することとしている。

本市では、昨年11月にクラブ設立準備委員会が発足したが、その取り組みと進捗状況は。

総合型地域スポーツクラブとは

- ①子どもから高齢者まで(多世代)
- ②さまざまなスポーツを愛好する人々が(多種目)
- ③初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)

という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ

答弁…教育長

クラブ設立準備委員会では、規約、会費等を定め、現在、会員募集について協議を進めているところです。

今後は、総合型地域スポーツクラブを地域に根付かせるために、体育協会や体育指導委員会などのご支援とご尽力をいただく中で、例えば、市立体育館を拠点施設として運営していくということが考えられます。

いずれにいたしましても、平成23年3月末までには、坂出市総合型地域スポーツクラブの設立総会を開催する予定です。

葛西 吉弥(黎明)

臨港線跡地の活用について

質問 臨港線跡地の道路整備計画を示せ。また、南側部分の今後の活用について、市はどのように考えているのか。

答弁…都市建設部長

臨港線跡地については、平成12年度に旭町二丁目の市道旭町5号線から、さぬき浜街道までの約800mの区間を市道認定しました。このうち、県道高松善通寺線から北側については、平成23年度の完成に向け整備する予定です。

県道から南側については、道路整備に対して一部反対意見もあることから、今後、地元との協議を進めていく必要があると考えています。

また、市道認定区域外のうち、市道旭町5号線から南側の区間については、道路等の計画もなく、今後、地元の方々の意見を聞きながら、土地利用について、売却も含め、検討していきたいと考えています。

答弁…市長

現在、県道から南側の部分は、何軒かの反対があり、整備ができていないという状況です。

今後の地元との話し合いについては、本日は室町谷内線に関する協議と一緒にやるのが適切だと思いますが、いずれにしても、なるべく早く、それぞれ並行して協議する場を設けていきたいと考えています。